

**研究テーマ2**

ひと うま なが  
人と馬の長いつきあい

けんきゅう  
研究した日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

がっこうめい  
学校名 \_\_\_\_\_

ねん ぐみ ばん なまえ  
年 組 番 名前

(1) 市内しなから見つかった古墳時代こふんじだいの馬具ばぐ（馬につける道具）が展示てんじされています。何なんという名前なまえの馬具でしょうか。また、その馬具は馬のどこにつけるものでしょうか。【2-①のパネルから】

(2) 市内から古墳時代こふんじだいの馬具ばぐが見つかっているのは、どこでしょうか。2ヶ所かしょありますよ。【2-①のパネルから】

(3) 展示されている古墳時代の馬具と同じ名前の馬具が展示されています。<sup>なにじだい</sup>何時代のものでしょうか。その馬具は2点<sup>てん</sup>ありますが、どちらかをえらんで<sup>え</sup>絵に<sup>か</sup>描いてみましょう【展示品から】

(4) 下の<sup>しゃしん</sup>写真は、江戸時代の<sup>えどじだい</sup>亀山の<sup>かめやま</sup>殿さま<sup>との</sup>であった石川家<sup>いしかわけ</sup>につかえた<sup>ぶし</sup>武士の家に<sup>つた</sup>伝わっていた『<sup>はちじょうりゅうばじゅつはやうま</sup>八条流馬術早馬の<sup>ひしよ</sup>秘書』の馬の絵です。この絵の中に<sup>えが</sup>描かれた馬具の内、<sup>じゅうじぐつわ</sup>十字轡に○印をつけてください。【展示品から】



(5) 江戸時代の元禄<sup>げんろく</sup>15年（1702年）に、大庄屋の打田権四郎昌克<sup>おおじょうや うちだごんしろうまさかつ</sup>がまとめた「九々五集」<sup>くくごしゅう</sup>によると、亀山領<sup>かめやまりょう</sup>の内、今の亀山市につながる町や村には、あわせて何頭<sup>なんとう</sup>の馬がいたでしょうか。また、その時の牛は何頭<sup>なんとう</sup>でしょうか。

【2-②のパネルから】

(6) 江戸時代の亀山の殿<sup>との</sup>さまであった石川家につかえた今井家は、馬にかかわるすべてをまかされた家臣<sup>かしん</sup>でした。その今井家に伝わる文書の中の絵（下の写真）は、何をあらわした絵<sup>てんじひん</sup>でしょうか。【写真、展示品などから】



(7) 明治<sup>めいじ</sup>41年（1908年）12月の亀山町<sup>かめやまちょう</sup>には、馬でひく荷車<sup>にくるま</sup>（「荷馬車」）が何台<sup>なんだい</sup>あったでしょうか。【2-④のパネルから】

(8) 荷馬車にばしゃなどにかわって、昭和 30 年代に広まった荷物をはこぶ道具は何でしょうか。【2-④のパネル】

(9) 昭和 30 年ころまで亀山にあった馬車屋ばしゃやで使われていた馬具が展示されています。それは何でしょうか。また、その絵えを描かいてください。

(10) そのほかにおもしろかったこと、気づいたこと、思ったことなどを自由じゆうに書いてください。